

ひろげる つなぐ かえる

2014

1

2013年12月25日発行
通巻181号



P1-2 熱中手帖。

-これまで×これから- Vol.19

公益財団法人 三重県国際交流財団

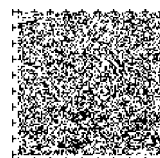
企画総務課長 筒井 美幸

P3-4 三重ぐるり～みえの市民活動～

今月のテーマ：国際に関わる団体

- P5 募集のご案内、助成金情報
- P6 クローズアップ協創のヒント集
- P7 マイNPO物語、NPO・ボランティア私の一冊 ほか

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



執中手帖。

—これまで×これから— vol.19

社会や地域のニーズに 応えていく

公益財団法人 三重県国際交流財団

企画総務課長 筒井 美幸

時代に合わせた役割の変化

設立趣旨や活動目的について教えてください

三重県国際交流財団は、地域の国際化を担う中核的な団体として、三重県、市町、企業、個人の方等から出資金等をいただいで設立された地域国際化協会という団体の一つです。地域国際化協会は各都道府県と政令指定都市に設けられており、その地域の国際化を推進する中心的な役割を担っていますが、国際化推進は時代の流れとともに役割やニーズが変化してきています。

設立当初の1991年には「多文化共生社会の推進」は目的に入っていませんでした。当時は日本人が外国人と接する機会が少なく異文化理解が進んでいないこともあり、日本人を対象とした交流事業を中心に進めていました。しかし外国人住民が増え、彼ら自身が抱えるさまざまな課題に対応する中で、外国人と共に暮らす意識が日本社会・人に築かれていないことに気づき多文化共生社会の推進をしていく必要性が生まれたのです。

そのころ、あるセミナーに参加し、外国人住民を取り巻く大きな課題として医療、教育、社会制度という3つのカテゴリーがあることがわかりました。いずれの場合も課題となるのは「ことば」「制度」そして対応する日本人の「気持ち」で、これらを「外国人を取り巻く『3つの壁』」と呼んでいます。その後、外国人が3つの壁を抱えながら暮らしていることを多くの人に伝えるとともに、外国人住民にも日本の医療や教育制度などを母語でわかりやすく伝える説明会を開催するなど、日本人にも外国人にも互いに住みやすい環境づくりを進めています。

三重県に災害時多言語支援センターをつくる！

災害支援について進んだ取り組みをしておられますね？

外国人住民の多くは、母語のコミュニティで情報交換をしています。聞くだけであれば日本語がある程度わかる方もいるので、テレビなどのメディアから情報を取ることができる人もいます。しかし書き言葉になると理解できる人は極端に少なくなり、何かあったときに頼りになるのは母語のインターネットや口コミの情報などになります。災害時は、日本のメディアと海外のメディアでの報道が大きく異なることもあり、そのことがデマなどに発展し、外国人住民等に誤解や混乱、不安を与え、パニックになったり間違った行動へと導かれてしまうことが危惧されています。

そこで財団は、2013年5月、災害時に外国語で正しい情報を届ける『「みえ災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定』を三重県と結びました。今後、どのような運営体制にしていくのか具体的なことは検討中ですが、外国人住民のコミュニティには必ずキーパーソンがいるので、そのような方々と連携をとりながら正しい情報を提供することを進めていきたいと思っています。三重県で大規模災害があれば、みえ災害時多言語支援センターに聞こう！という拠点にしていきたいですね。

また、みえ災害時多言語支援センター以外にも、避難所における外国人支援の研修や外国人を対象とした防災訓練、災害キットの作成、全国の地域国際化協会とのネットワークへの参加なども行っています。研修や訓練では高齢者が多い地域の場合、例えば「おばあ

ちゃん、何かあった時に助けてくれるのはお隣のブラジル人なんだからね」とか「あなたが助けてあげないと、おばあちゃんは2階から降りてこれないよ」など、人と人をつなげ、地域の自助力を上げるよう参加者の心に働きかけています。

*災害キット：避難所情報伝達キット（通称：つ・た・わ・るキット）は、災害発生時に被災した外国人への支援がスムーズに行えるよう、支援方法を標準化するためのツールとして作成、貸し出している。

「つ・た・わ・るキット」の内容紹介（一部）

多言語での避難所案内表示	外から見えるように避難所の入り口に貼る。多言語表示があるので外国人も利用できることがわかる
ピクトグラム	場所やルールなどを示すための絵表示
多言語表示シート	伝えたいことが日本語と多言語で書かれている。作成ツールをダウンロードすれば、日本語を入力するだけで多言語に翻訳されたシートが打ち出せる
多言語相談窓口リスト	外国人の困りごとへ対応するために必要となる関係機関の連絡先等一覧表

互いの良さを活かした 多文化なまちづくりを 社会情勢の変化や将来展望は？

三重県には一時期5万人以上の外国人が暮らしていて、これからも増えていくと考えられていたのですが、リーマンショックを機に帰国される方が増えました。「日本では仕事を得られない」「家族が日本に馴染めない」などの背景が要因の一つです。

しかし法務省の統計をみると永住者は増えています。母国の経済状態が良くない人たちは、帰国するより日本で仕事に就いて暮らす方が良いと判断されたのだと思います。外国人住民数が減っているから皆が帰るというわけではなく、永住者は増えているということは押さえておかねばいけないポイントだと思います。

日本人と同じように外国人の中でも少子高齢化は始まっています。今後、日本語があまりできない要介護者が増えてくるでしょう。現在、介護の人手不足もあり、外国人が介護職で働かれています。この人たちは重要な人材になっていくと思います。介護をする人、介護を受ける人が外国人という状況が、近い将来必ずやってくるでしょう。

また、年金を受給できない外国人が相当数生まれてくることも予想されます。ブラジルと日本は少し前に

総合年金協定を結びましたが、日本で派遣会社などを利用して働き、年金制度を見落とししてきた人たちは、年金の受給資格が得られない可能性があるのです。社会福祉の部分で日本は大きな課題に直面すると考えられます。

教育面では、日本語が話せても学習言語がわからない＝学力が身についていない点が大きな課題だと感じています。

このように、外国人を取り巻く環境を把握し、少し先の将来のことを予測しながら社会で必要とされる仕組み、そしてそこで活躍できる人を育てていくことが私たち財団に求められていることだと考えています。そのためには、それぞれの役割を担うさまざまな機関や団体との連携は欠かせません。日々の業務を通じてネットワークを築くとともに、同じ問題意識を共有できる賛同者や協力者を増やしていかなければなりません。社会は日々変化し続けています。その中で起こるさまざまな課題やニーズに柔軟に対応できるよう、これからもアンテナを高く張り巡らせていきたいと思っています。

日本は少子高齢化が進むとともに人口減少の時代になっています。このままでは破たんしてしまう地域も出てくるといわれています。そんなときに、日本のことを好きになり、日本で働き、子育てをしている外国人がいるのです。従来の価値観にとらわれず、新しい視点でもう一度地域を見つめなおす良い機会ではないでしょうか。日本人と外国人双方の橋渡し役を担ってきた私たちだからこそ見えることや感じるがあります。これからも、お互いの良い面を活かした地域づくりのお役に立てるよう努力していきたいと思っています。多文化が息づくまちは、きっと誰もが住みやすいまちになる。そう思いませんか？



災害時多言語支援センター運営シミュレーション訓練のようす

DATA

公益財団法人 三重県国際交流財団

事務局住所 〒514-0009
三重県津市羽所町 700 アスト津 3 階
T e l 059-223-5006
F a x 059-223-5007
E - m a i l mieh@mieh.or.jp
ホームページ <http://www.mieh.or.jp/>

代 表 者 理事長 内田 淳正
団体設立年月日 平成 3 (1991) 年 5 月 15 日
会 員 数 個人会員 126 人、団体会員 34 団体
会 費 個人会員 1 口 3,000 円/年
団体会員 1 口 12,000 円/年



三重県内で魅力ある活動を行っている市民活動・ボランティア団体等を県内各地域市民活動（支援）センター等の協力を得て、ご紹介します。

グローバルな展開が常識になりつつある今、海外での支援や外国人住民の支援など、文化の違いを認め合いながらお互いがより豊かになるための国際的な活動を行う団体も三重にはたくさんあります。国際に関わる団体は・・・？

今月のテーマ 国際に関わる団体

北勢
地域

桑名国際文化交流委員会

情報提供：特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

お互いの国のアマチュアの文化活動を、民間ベースで交流してお互いに理解する、いわゆる異文化理解ということを中心に活動しております。

内容は、演劇、音楽、大正琴なども含めて日本の邦楽、美術・絵画といった面で交流してきております。こちらから外国に出かけていって公演をする、公開をする機会をつくっていただいでそちらに出かけると同時に、日本で外国の劇団や音楽や絵画・美術を招へいして公開する。国際交流には気くばりをしなくてははいけないこともありますから、お互いに勉強していくことも大切です。

現地での交流の様子



ひとこと PR!

心を開いて世界とつながろう

✉ wakobu.pc.7403@ymail.plala.or.jp
(事務局)

北勢
地域

模擬ゼミ (Mongol and Japan SEMINAR)

情報提供：四日市市なやプラザ

模擬ゼミとはインターネットのテレビ回線を使用し、モンゴル国ウランバートル市の私立高校と日本の四日市大学の学生が環境をテーマにそれぞれの相違点を確認し、互いに学び合うユニークな学び舎です。模擬ゼミは一ヶ月単位で構成され、第1週目は日本の環境に係る学識者の基調講演、2週目はモンゴルの高校生がレポートを執筆、3週目は日本の大学生がレポートの校正を行い、4週目に学識者によるレポート講評となります。

ひとこと PR!

若き新興国モンゴルの志高きエリート留学生を支援、応援する事により20年後のモンゴルと日本の架け橋になりたいと考えています。

✉ forestjapan.of@gmail.com



北勢
地域

特定非営利活動法人 愛伝舎

情報提供：鈴鹿 NPO サポートセンター

日本には多くの外国人が定住しています。NPO法人愛伝舎は、日本社会で外国人が安心して定住できることを願い、通訳、翻訳、日本語教室、生活適応セミナー、教育セミナー、介護人材育成研修などを行い、活動をしてきました。今後日本の人口減少が進む中、外国人との共生は、私たちの社会にとって大きな課題の一つとなると考えています。在住外国人が自立して日本での生活を快適に送れるようにと願っております。私たちは、外国人が日本の社会で活躍をして、日本の社会の活力、世界との架け橋になる「多様性が豊かさになる社会づくりを目指して活動をしています。

人材育成研修終了式のメンバー



ひとこと PR!

「多様性を豊かさ」日本の社会に様々な文化、言葉、歴史の背景がある人がいることが、活かチャンス・豊かさになるような多文化共生社会づくりを進めています。

☎ 050-3532-9911(坂本)

伊賀
地域

名張国際交流研究所

情報提供：特定非営利活動法人 なばり NPO センター

地域での国際交流・協力を行いたいと趣旨に賛同した有志が集まり発足しました。外国で日本語の学習をしている大学生を対象に、夏季日本語研修を実施しています。近年ではオランダ国立南大学より学生を受け入れています。これは平成7年から行っているもので、毎年10日間から3週間学生を受け入れ、日本語や日本文化等の研修を行っています。その他、国際理解の為のセミナーやシンポジウムなども開催しています。

名張市長表敬訪問時の一枚



ひとこと PR!

国際交流、ホストファミリーとして学生の受け入れに興味のある方、ご連絡お待ちしております！

☎ 0595-63-0699
(代表 中森)

中勢 地域

答礼人形「ミス三重」の会

情報提供：津市市民活動センター

当団体は、答礼人形「ミス三重」と「青い目の人形」を通じて、日米交流をすすめています。平成9年、答礼人形「ミス三重」の里帰りを果たし、アメリカ・ネブラスカ大学博物館との交流を持つと共に、三重県内の青い目の人形を今も大切に保管している小学校との情報交換を行っています。

ネブラスカ小学校にて
友情人形プレゼント



ひとこと PR! 全米に約40体の答礼人形があり、日本には30の体弱の青い目の人形があります。日米人形交流の精神を、今の若い人たちに伝え、つないでゆきたいものです、100年先までも。

✉ missmiehomecoming@zb.ztv.ne.jp

中勢 地域

インディアン・エレファント

情報提供：松阪市市民活動センター

世界の文化や暮らしをもっと知りたい! 関わりたい! という思いから、2005年に松阪の若者を中心に設立。草の根の活動を目指し、定期的に外国の国をテーマにしたイベントを開催するなど、楽しみながら世界にふれられるような活動を行ってきました。イベント開催時には、家で使わなくなった筆記用具を収集し、メンバーで発展途上国の孤児院へ直接持っていくこともありました。現在はメンバーのレーナー・八千代さんと刀根泉さんが、アフリカの人々の手によって作られた雑貨を販売する「アフリカン・ハンズ」を立ち上げ、新しい国際交流のカタチを探っています。



ひとこと PR! ボランティアや国際貢献、支援という考え方でなく、同じ立場でともに学び、理解し、成長し合えるような交流を目指しています。

☎ 090-5008-7968
(刀根さん方)

南勢 地域

伊勢市国際交流協会

情報提供：いせ市民活動センター

国際交流及び国際親善を促進し、国際相互理解を深め、国際感覚あふれるまちづくりに寄与していくことを目的として活動しています。活動内容は、外国人の日本語学習支援を行う『いせ日本語教室』、異文化理解を深めるための『国際理解講座』、料理作りを通じて世界のことを学ぶ『世界の料理パーティー』、様々な国際交流イベントの開催を行う『イベント企画部会』、協会の活動を紹介する機関紙『フィロス』の発行等を行っています。また、ホームステイ等の受け入れもしています。



世界の料理パーティーでスウェーデンの留学生にスウェーデン料理を教わっている風景

ひとこと PR! 世界のことももっと知りたい、いろいろな人と交流がしたいと思っている方は、お気軽にご参加下さい。

✉ kouryu@city.ise.mie.jp

南勢 地域

志摩市国際交流協会

情報提供：志摩市民活動通信 sanpo

歌と踊りや美味しい食事でみんなをつなぐ「しま国際交流フェスティバル」。互いに教え学びあう「やさしい日本語教室」「世界の家庭料理教室」。世界と家庭をつなぐ「ホームステイ支援」「国際映画祭」など、身近なことから世界を感じる活動を続けています。ぜひあなたも仲間になりませんか?

第2回しま国際交流フェスティバルにて



ひとこと PR! 笑顔は世界共通言語です。

http://www.shima-kokusai.com/
✉ shima5931@gmail.com

東紀州 地域

紀北国際交流協会

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

紀北国際交流協会は町内外の約30人の会員で組織し、大人のための英会話教室や国際相互理解を進める事業として外国の料理を紹介する料理教室や、在住外国人とのスポーツ大会、クリスマスパーティー、視察研修旅行などを開催しています。昨年度からは日本文化発信事業を始め、能楽師を招いての能管教室、茶道、尺八と琴の演奏会を行いました。来年度は熊野古道の世界遺産登録10周年を迎えます。また紀勢自動車道紀勢線の開通も間近であり、外国人観光客が増えることも予想され、熊野古道の外国語ガイドの養成も今後の課題としています。



フィリピン料理教室の様子

ひとこと PR! 本年度の日本文化発信事業として、1月に居合の実演を予定しています。

☎ 0597-46-3113
(事務局：紀北町企画課内)

2月号のテーマは

若者が活躍している団体

です。



募集とご案内

避難生活で被害を拡大しないために！ 次の災害に備えるための「避難者支援拠点アセスメント訓練」参加者募集

被災時に少数ではあるが最も支援が必要であると思われる障害者、外国人、難病患者、高齢者、被災児童などのスペシャルニーズを把握し、ニーズに対応できる地域の内外のNPOや専門家団体、企業等につなげて解決するしくみづくりを目指した訓練の参加者を募集します。

【事前会議】…全員参加

日 時 1月14日(火) 13:00～16:00

場 所 みえ県民交流センター アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

【参加方法①】…2日間の訓練参加

日 時 1月25日(土) 10:30～17:00

2月23日(日) 13:30～17:30

場 所 紀北町社会福祉会館(紀北町紀伊長島区東長島209-9)

【参加方法②】…インターネットを介した1時間の訓練参加

日 時 1月25日(土) 15:00～16:00

場 所 インターネットにつながる環境で、SNSを介したコミュニケーションが可能な所(自宅・事務所からの参加可能)

対 象 県内で活動しているNPO・企業・対人援助の専門職の方
介護・福祉関係の地域活動をされている方

応募方法 E-mailによる。件名を「アセスメント訓練参加」とし、本文に「氏名・所属団体名・所属団体住所または参加者住所・連絡先(携帯電話番号)・メールアドレス(PC用)・参加方法(①または②)」を明記し申込み。

応募締切 2014年1月10日(金)

問合せ先 日本財団 次の災害に備える企画実行委員会
(事務局:ダイバーシティ研究所) Tel 03-6233-9540

✉ tokyo@diversityjapan.jp

～地域の魅力ある観光資源を、移動に困難を伴う皆様にも～ みえのバリアフリー観光研修会

移動に困難を伴う皆様にも三重県の観光を楽しんでいただけるよう、旅行会社や伊勢市、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの取り組みを通じて、バリアフリー観光の可能性や課題について情報交換(事例発表とパネルディスカッション)します。

日 時 1月23日(木) 13:30～16:00

※オプション:バリアフリー施設の視察 10:00～12:00

場 所 いせ市民活動センター 北館シティアラザ 多目的ホール

対 象 バリアフリー観光に関心のある方・団体

参加費 無料 募集人数 60名 ※要申込み

応募方法 参加申込書に、所属・氏名・連絡先等を記入しFaxまたはE-mailにて申込み。

問合せ先 三重県雇用経済部観光・国際局 観光政策課
Tel 059-224-2077 Fax 059-224-2482(森・松河)

✉ kanko@pref.mie.jp

市民活動 NPO 月間 記念イベント 協創シンポジウム

社会構造の変化の中でNPO・企業・行政が連携し、1人1人がアクティブ・シチズンとして、どのようにこれからの豊かで活力ある市民社会を構築していくかを語り合う2部構成のシンポジウムです。ともに創っていく「協創」の未来…そのためにわたしたちができることを考えます。

第1部 基調講演『現代におけるNPOの意味 ～「新しい公共」への戦略的視点』

寺島 実郎氏 …(一財)日本総合研究所 理事長、多摩大学 学長、(株)三井物産戦略研究所 会長、(特活)みねるばの森 理事長

第2部 パネルディスカッション『NPOがひらく協創の未来』

筒井 真氏 …(株)三重銀総研 代表取締役副社長

松井 真理子氏 …四日市大学 総合政策学部 教授、(特活)市民社会研究所 代表理事

伊藤 久美子氏 …三重県環境生活部 次長(人権・社会参画・生活安全担当)
コーディネーター:

服部 則仁氏 …(特活)みえNPOネットワークセンター 代表理事

※13:30～14:30 シンポジウム参加者交流会
(みえ県民交流センター アスト津3階)

日 時 1月11日(土) 10:30～13:00

場 所 アストホール アスト津4階

参加費 500円 募集人数 250名 ※申込み先着順

応募方法 氏名・所属・住所・電話番号・メールアドレス・参加項目(第1部/第2部/交流会)をTel、Fax、E-mailまたは窓口で連絡

主 催 三重県、(特活)みえNPOネットワークセンター

問合せ先 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel 059-222-5995 Fax 059-222-5971

✉ center@mienpo.net

HP http://www.mienpo.net/center/

2014年度 第1回 原発シンポジウム 福島第一原発の現状 ～廃炉過程と働く人びと～

原子力規制委員会では原発の再稼働審査が進められています。原発の再稼働は新たな核廃棄物を生み出し、未来の子どもたちにさらなる核廃棄物を押し付けることになるのです。原発稼働ゼロの今、再稼働は何をもたらすのか? なによりもフクイチの現実を見つめよう!

日 時 1月26日(日) 13:30～16:00

場 所 四日市中部地区市民センター 4階大会議室
(Tel 059-354-0036)

対 象 原発に興味のある方 参加費 無料 ※申込み不要

問合せ先 脱原発四日市市民の集い シンポジウム実行委員会
Tel 090-1414-4450(大野・園田)

✉ golondrina643@yahoo.co.jp

HP http://blog.goo.ne.jp/tanutanu9887

助成金情報

助成金情報は、弊センターホームページでも多数ご紹介しております。

HP http://www.mienpo.net/center/

- ・スポーツ安全協会 平成26年度スポーツ普及奨励助成事業募集 1月24日(金) 必着
- ・公益推進協会 「第4回 夢屋基金」助成(分野:子ども・環境・災害・国際 など) 1月30日(木) 当日消印有効
- ・明治安田クオリティオブライフ文化財団 「地域の伝統文化保存維持費用」助成 1月31日(金) 当日消印有効

クローズアップ

協創のヒント集

県民が力を合わせることによって、地域社会で「今までできなかったことができるようになる」ために大切なヒントを毎月ご紹介いたします。

ヒント7 ボランティアで支援する

【ヒント7】

ボランティア活動を既に行っている人は年々増加していますが、まだ経験がなくてもこれからやってみたいと考えている人も、年齢・性別等に関わりなく多いのです。

しかし、そのような方々のニーズの掘り起こしや、市民活動団体への橋渡しが十分に行われていません。市民活動団体も人手不足を悩みながらも、ボランティアの受け入れに取り組んでいる団体は少数にとどまっています。

このような状況を改善するためには、未だボランティア活動に踏み出していない人の掘り起こしや、ボランティアと市民活動団体とのマッチングの体制が必要です。つまり、市民が市民活動に対して労力を提供する、「人による共助のシステム」を整備するということです。自治体の市民活動センター、社会福祉協議会のボランティアセンター、高校・大学などのボランティア（部）などが連携すれば、市民活動を支える人の輪は飛躍的に広がります。

【ヒント7の事例】

- ①官民協働で活動する「みえ災害ボランティア支援センター」（全県） **実施主体** みえ災害ボランティア支援センター
- ②退職者を中心とするプロボノ「人財ポケット」（四日市市） **実施主体** 一般財団法人ささえあいのまち創造基金
- ③ボランティアが支える「いのちの電話」（全県） **実施主体** 認定特定非営利活動法人三重いのちの電話協会（NPO）
- ④若者と地域の架け橋「大学のボランティアセンター」（全県） **実施主体** 大学

引用：『夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～』（三重県・新しい公共円卓会議／2013年3月発行）

活動のぞき見隊 Vol.6

NPOの活動、団体のサポートなどのNPOに関わりのある活動ってどんなことをしているのでしょうか？その活動現場で活躍するスタッフのある日の一日を紹介します。

今回は、三重を「幸せな仕事」をしている人たちでいっぱいすることを目的としている特定非営利活動法人 a trio（ア トリオ）の企業担当スタッフである山本さんに密着しました。山本さんは、a trioの数あるプロジェクトの中でも、三重県での就職を考えている学生に向けた「就職ガイドブック」の作成や、就職関連の説明会・セミナー・イベントの開催などを行っています。県内の中小企業のことを学生に理解してもらうことで、採用者と就職希望者のより良いマッチングを行い、採用定着につなげることを目指しています。

HP <http://a-trio.net/> 連絡先 059-253-7657

特定非営利活動法人 a trio

企業担当スタッフ 山本 洋さん

岐阜県出身、三重県在住。鈴鹿国際大学卒業後、財団法人三重県文化振興事業団に就職。雑誌作成、動画配信、講座開催、東日本大震災復興支援などのボランティア活動に取り組む。2013年6月にa trioに入社。様々な企業の方とお会いしお話を聞くことで、密度の濃い毎日を過ごしている。



9:00 出勤、事務作業、アポ取りなど



メールチェックや事務作業、企業への連絡を行います。

13:00 企業への取材



県内の企業の方に取材をさせていただきます。

17:00 打ち合わせ



情報共有と今後の展開について内部での打ち合わせを行います。



セミナー・イベントの開催

取材だけでなく、学生向けのセミナーやイベントを開催することもあります。



【情報を提供していただく皆様へ】

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお願いします。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net Fax 059-222-5971

みえぎんNPOローン

好評取扱中

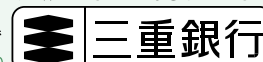
委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>

“地域とともに みなさまとともに”





ライズ 代表 有竹 利恭さん (鈴鹿市在住)

プロフィール

1968年 四日市市生まれ。2006年から障がい者のスポーツ情報誌「ライズ」を発行。現在はWEBで配信。趣味はレコード収集。



障がい者のスポーツ情報を発信しています。以前、「障がい者スポーツ情報誌」は書店販売されていたのですが、相次いで休刊になってしまいました。それが残念で競技日程を知らせる情報誌を作ろうと始めたのが、この活動のきっかけです。7年前に紙媒体で情報発信を始めて、昨年(2012年)10月からはWEB配信に切り替えました。内容は競技日程、競技結果、大会レポート、書籍紹介等です。今後は対談コーナーも設けて、選手と対談している模様などをWEBで配信していきたいと思っています。

今年の4月には、三重県障害者スポーツ協会の登録団体にアンケートを送りました。困っていることや今後の希望などを聞いたところ、「練習場所がない」、「車椅子が使えない」などの物理的バリアや、「お金がない」などの資金面で困っている回答が多かったですね。それで当事者の視点で三重県内のスポーツ施設や公共交通機関を利用して施設に至るまでのバリアをチェックして、その結果から改善点をまとめて市に報告をしたいと考えています。まだまだ理想の段階なのですが、8年後に全国障害者スポーツ大会が三重県で開催されますので、それに向けて整備をしていく必要があると思います。

7年後のパリンピックもとても楽しみにしています。取材に行きたいとも思っているのですが、それに向けて一緒に活動してくれる仲間が欲しいと切実に思っています。HPの作成やパソコン入力得意な人も募集中です。



NPO・ボランティアの一冊

みえ県民交流センターの図書・資料コーナー等から、スタッフがおすすめるNPOやボランティアに関するさまざまな書籍類をご紹介します。



ファンドレイジングが社会を変える

三一書房

鶴尾 雅隆

2009年4月8日

著者はファンドレイジング成功のための7つの原則および改善の為のステップと技を、国際分野における実体験を踏まえてわかり易く説いている。「日本の市民社会は成熟していないのだから、寄付なんて集まらない」というパラダイムからの脱却が大切であり、そのために右脳から入って、左脳に落とす作業、つまり問題への共感と解決策への納得が寄付行動へと導くという。NPOは、受益者から地域社会へ、国や社会全体へ及ぼす変化までメッセージとして発するべきであると。

また古来より「陰徳の美」をよしとする風習もつり銭型寄付社会を支え、恩と感謝の気持ちをしっかり支援者に示すことが欧米以上に期待されている日本の寄付文化への考察も興味深い。つり銭型寄付から社会変革型寄付への脱却のために、成功体験やそれによる感動が共有される場が必要であると具体的な事例を挙げて訴える。

ファンドレイジングは単なる資金集めでなく、まさに社会を変えていく手段として捉えなおすことから始めようというメッセージが響いてくる一冊である。【安村】

認証した特定非営利活動法人

(2013年11月10日～2013年12月9日認証分)

- ①法人名②主たる事務所の所在地
③活動分野④認証年月日⑤代表者

- ① 特定非営利活動法人 桑名の杜
② 桑名市大福 376 番地
③ 保健、まちづくり
④ 2013 年 11 月 20 日
⑤ 理事長 中嶋 恵子

- ① 特定非営利活動法人
大学拠点ヘルシーライフ研究機構
② 津市岩田 17 番 21 号
③ 保健、社会教育、まちづくり、
学術、地域安全、子ども
④ 2013 年 11 月 27 日
⑤ 理事長 重松 良祐

- ① 特定非営利活動法人 陽だまり
② 鈴鹿市桜島町七丁目 6 番地の 1
③ 保健、職業能力
④ 2013 年 12 月 4 日
⑤ 理事 矢納 賢一



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南))/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健康・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連



環境にやさしい植物油インキを使用しています。